

#### ■ポーランド：政府、長期エネルギー戦略（PEP2040）草案改訂版発表

エネルギー省は2019年11月8日、関係各所との協議やパブリックコメントを経て、2040年までの「長期エネルギー戦略」（PEP2040：Poland Energy Policy 2040）草案の改訂版を発表した。2018年11月に発表した草案からの変更点は、陸上風力の導入量を2040年時点で976万kW（2018年草案：80万kW）と大幅に引き上げたことである。また、新規導入を目指す原子力は、2019年現在の進捗状況を反映し、2040年時点の設備容量を390万kW（同560万kW）と目標値を引き下げた。一方で、2040年時点の褐炭火力電設備を340万kW（同150万kW）、石炭火力発電設備を763万kW（同650万kW）とする等、石炭低減を進めるものの、前回草案よりは低減幅を縮小する方向となっている。その他、太陽光は2040年時点で1,600万kW（同2,000万kW）、洋上風力は800万kW（同1,000万kW）と想定されている。